

水野葉舟 みづの せふね 歌人、詩人、小説家。明治十六年四月九日東京生れ、
 昭和二十一年二月一日歿（八八二一九四七）。本名益太郎。別號水野蝶郎、
 葉舟生。明治二十八年早稻田大學卒。學生時代から文藝雜誌に投稿、
 また東京新詩社に加入し與謝野鐵幹の指導を受け、社中の高村光太郎、
 窪田空穂と親交。大正十三年千葉縣印旛郡に移つて半農生活。

著譯書「わらうき」(明治二十九年七月)、「金曜社」、
 「響」(明治四十一年十一月五日新潮社)、
 「壁畫」(明治四十四年四月十八日春陽堂)、
 「新敘情文範」(編、明治四十五年一月二十日新潮社「作文叢書」)、
 「現代文章作法」(合著、大正四年一月五日、再刊・五月二日忠誠堂出版部)、
 「小品文練習法」(大正四年四月八日新潮社「文藝練習法叢書」)、
 小島 こじま 選集「草と人」(大正四年六月二十一日植竹書院)、
 「凝視」(大正四年七月二十八日婦人文藝社)、
 「心の響」(列傳體代表「新體詩集」(編、大正五年九月十八日耕山堂)、
 「小品作法」(大正七年九月二十一日春陽堂「文藝研究叢書」)、
 「佛國小學讀本」全一冊(星野辰男共譯、上・大正十年十月二十日、下・十一年四月二十日世界文庫刊行會「世界國民讀本叢書」)、
 「新書翰大鑑」(共編、大正十一年二月二十五日郁文舎出版部)、
 ウヰリヤム・バレット(キリヤム・エフ・バレット)著「幽霊の存在」(見えぬ世界の颯々として)

精神 スピリチュエリズム 靈論の現象及び死後の生存の表示の對する研究(譯、大正十一年七月二十一日新光社「心靈問題叢書」)、
 「アメリカ小學讀本・第四學年」(纂譯、大正十一年四月二十日世界文庫刊行會「歐米小學讀本教科書」)、
 「フランス小學讀本・第一學年」(纂譯、大正十一年四月二十一日)



大正十一年七月二十一日新光社「心靈問題叢書」、
 「アメリカ小學讀本・第四學年」(纂譯、大正十一年四月二十日世界文庫刊行會「歐米小學讀本教科書」)、
 「フランス小學讀本・第一學年」(纂譯、大正十一年四月二十一日)

- 十白世界文庫刊行會「歐米小學讀本教科書」(、^{妹八}送る書簡文集)(大
 正十三年八月五日大阪・榎本書店)、^可現代文章作法講話(公著・
 大日本文學會編、大正十三年十二月)二十五國民教育普及會)、^可書
 簡又作法(大正十四年一月五日松陽堂「文章講習叢書」)、^可兒童
 文集・第一卷(選、昭和八年六月二十日千葉・印旛郡國語教育研究
 會編輯)、^可小呂集「村の無名氏」(昭和十一年十二月)二十五日人文書
 院)、^可ドイツの讀本(編、安藤正次譯、昭和十二年二月十八日春
 陽堂書店「春陽堂文庫」)、^可イギリスの讀本(編、友枝照雄譯、
 昭和十二年四月十五日、再刊・六月十五日春陽堂書店「春陽堂文庫」)、
^可新綴り方讀本(昭和十二年八月)二十五日春陽堂書店「春陽堂文庫」、
^可滴漉(昭和十五年九月)二十五日草木屋出版部)、^可食べられる草
 木(全)二冊(編、上・昭和十七年七月二十日、下・十八年五月二十五
 日月明會出版部「月明文庫」)、^可小呂集「隣人」(昭和十八年八月)一
 十白今日の問題社)、^可明治文學の潮流(昭和十九年九月)二十五日純
 元社)等。